

「Internet Explorer」での「検索」(1)

「Internet Explorer」を起動する。

「検索ボックス」に検索語を入力し、虫めがねボタンをクリックする。

右の をクリックすると、検索法の選択ができる。

検索語句は、スペース（空白）で区切って、複数入力できる(AND検索)。

検索結果の一覧が表示される。



「Internet Explorer」での「検索」(2)

「Internet Explorer」のアドレスバーに、検索語を入力し、「ENTER」キーを押す。



検索結果が表示される。

検索エンジンを使う場合よりも速く検索できる場合もある。

検索の上手下手は、情報収集能力を大きく左右するので、検索法には精通することが望ましい。

検索エンジン(検索サイト)

「検索エンジン」と呼ばれる検索専門のWebページでも検索ができる。

中でも、「google」(グーグル)の有用性が高い。下記の検索エンジンは、「お気に入り」に入れておくことが望ましい。

検索エンジンの例

google <http://www.google.co.jp/>

Yahoo! <http://www.yahoo.co.jp/>

検索語の選択に迷うときは、「Googleサジェスト」

<http://www.google.co.jp/webhp?complete=1&hl=ja>

にアクセスし、何か語句を入れると、それに関連する候補の語句が過去のヒット数と共に表示される。

例えば、「いせい」と入力すると、「異性体」や「異性化液糖」などが下に表示されるので、それから適当なものをクリックにより選択する。

学術論文を探すときは、「Google Scholar」

<http://scholar.google.com/> を使う。

これらの検索エンジンを使うと、たいていのWebページは見つけられる。

以下、「google」での検索法について説明する。

Googleでの検索 － 基本操作

基本的な使い方

アドレス欄に `www.google.co.jp` と入力し「Enter」キーを押す。

このURLを「お気に入り」に追加しておくことが望ましい。

表示される検索欄に検索するキーワード（検索語； 語句）を入力する。

「Google検索」ボタンをクリックする。（「Enter」キーを押してもよい。）

表示された検索結果画面で、適当と思われるサイトのURLをクリックする。

効率のよい検索語の入力法

ありふれたキーワードを1つだけ入力して検索すると、ヒット数が多過ぎて、どれが適切なページか分からない場合が多い。通常は、検索対象を絞り込む必要がある。

AND検索

二語以上の検索キーワードを、間にスペース（全角でも半角でもよい）を入れて使う。入れるキーワードは、いくつでもよい。

かっこ（ ）で囲むとその検索語が特に重視される。

完全一致検索、とは検索、マイナス検索

「完全一致検索」（「フレーズ検索」）

長い日本語は分解されて検索されることも多い。一まとまりのキーワードは、「」（ダブルクォート、半角）で囲む。

特定な情報を探すときには、完全一致検索を使うと、より早く検索できる。

例 「山口県立図書館」で検索 約211,000件ヒット

（「山口県立山口図書館」なども入る。）

「“山口県立図書館“」で検索 323件しかヒットしない

（入力語に完全に一致するものだけが表示される。）

「とは検索」

ありふれたキーワードでの検索では、ヒット数が多過ぎる場合が多い。そのようなときは、検索語の後に、「とは」の2文字を付け加える。

「とは」の代わりに、「は」も有効である。

例 「酸性雨」について調べるときには、「酸性雨とは」と入力する。

「マイナス検索」

あるキーワードを含むページを除きたいときは、そのキーワードの前に「-」（マイナス、半角）を付ける。

例： 検索欄に「山口 -大学」と入力すると、山口という語句があっても、大学という語句のあるページ、例えば山口大学という語句があるページは、検索結果に表示されない。

イメージ検索、OR検索

OR検索

ヒット数が少ない場合には、「OR検索」が便利なのもある。複数の文字列をOR(半角大文字)で区切って入力した場合には、それらの文字列のうちどれか一つでも含まれると、ページがヒットする。

ORの前後のスペースは、あってもなくてもよい。

検索語を漢字、ひらがな、カタカナのどれで入力するか迷うことはよくあるが、「OR検索」を使うと迷わずにすむ。

ORの代わりに半角の「|」(縦棒)でもよい。

イメージ検索

初期設定では、「ウェブ」(Webページ)が検索対象になっている(設定表示は入力欄のすぐ上)。入力欄の上で「イメージ」を選択して検索すると、画像が表示される。

どれかをクリックすると、拡大して表示される。

拡大した画像上で右クリックし、表示されるメニューから「名前を付けて画像を保存」を選択すると、その保存画面が表示される。

日本語のサイトでも、画像のファイル名は英語のことが多いので、英語名でも検索してみる。

直近の情報を得るには、入力欄の上で「ニュース」を選択する。

カテゴリー検索、日本語検索

カテゴリー検索

入力欄の上で、「グループ」を選択すると、カテゴリー(アート、ニュース、地域、・・・)が表示され、そこからリンクをたどれる。

日本語検索

初期設定では、「ウェブ全体から検索」(全言語が対象)になっている。検索語に日本語が含まれていると、自動的に日本語のページが検索されるが、キーワードが英語だけだと、検索結果の大部分が英語のページになる。英語が苦手な人は、「日本語のページを検索」を選択して検索するとよい。

検索履歴に表示される語句は「Delete」キーで削除できる。

英和検索、和英検索、電卓機能

英和検索

入力欄に「英和 university (何か英単語)」などを入力する。
「universityを英和辞書で調べる(英辞郎 www.alc.co.jp)」
をクリックすると、訳が表示される。

和英検索

「和英 大学」などを入力する。
「上端の大学を和英辞書で調べる(英辞郎 www.alc.co.jp)」
をクリックすると、和英辞書が表示される。

Google 電卓機能

例：入力欄に

$222+65*0.3-16/4$ と入力して検索すると、
 $222 + (65 * 0.3) - (16 / 4) = 237.5$ と表示される。
「*」は積算(かける)を、「/」は除算(割る)を表す。

GoogleサジェストとGoogle Scholar

検索語の選択に迷うときは、「Googleサジェスト」

<http://www.google.co.jp/webhp?complete=1&hl=ja>

にアクセスし、何か語句を入れると、それに関連する候補の語句が過去のヒット数と共に表示される。

例えば、「いせい」と入力すると、「異性体」や「異性化液糖」などが下に表示されるので、それから適当なものを選択する。

学術論文を探すときは、「Google Scholar」

<http://scholar.google.com/> を使う。

検索履歴に表示される語句は「Delete」キーで削除できる。

Internet Explorerでの「このページの検索」

検索エンジンからあるサイトにジャンプしても、目的の単語を探すのが難しいことがある。そんなときに、下記の操作を行う。

ブラウザ(IE)の「編集」メニュー 「このページの検索」とクリックする。

「検索する文字列」ボックスに検索する文字列を入力する。

「検索する方向」を指定する。通常「下へ」を選ぶ。

「次を検索」をクリックする。

検索された文字列が選択表示される(白抜き青で表示される)。

検索ボックスが邪魔になるときには、ボックスのタイトルバーをドラッグして移動させる。

「次を検索」ボタンをクリックすると、次の場所で検索結果が表示される。

全ての検索結果が表示され終わると、「ドキュメントの検索が完了しました」と表示される。

「OK」ボタンをクリックするか「Enterキー」を押すと、この表示が消え、次の検索をすることができる。

最後まで検索してから、新たな文字列で検索する場合などには、「検索する方向」で「上へ」を選ぶと便利。

検索を途中から始めるには、1文字以上をマウスポインタのドラッグで選択しておく。選択してない場合には、Webページの最初から検索される。(「検索する方向」が「下へ」の場合。)

ソフトウェアライブラリのサイト

パソコンでの作業効率をあげるためのアプリケーションを「Vector」や「窓の杜」からダウンロードできる。

VECTOR ソフトウェアライブラリ <http://www.vector.co.jp/>

窓の杜 ソフトウェアライブラリ <http://www.forest.impress.co.jp>

シェアウェア：一定期間は無料で試用できるが、長期間継続して使用するためには、作者に送金しなければいけないというソフト。

フリーウェア：無料で提供されるソフトウェア。フリーウェアは送金の義務はないが、著作権は放棄していないソフトがほとんどであり、無断転載や、著作権を侵害するような行為は禁止されている。

著作権を放棄しないという点は、シェアウェアも同様なので、送金したといって、無断転載などをしてもよいということではない。

課題

- 課題 1** 「Internet Explore」付属の検索機能を使った検索の操作手順を2種類書け。
- 課題 2** Googleでの検索で、「県立美術館」と入力して検索した場合のヒット数と「 ” 県立美術館 ” 」と入力して検索した場合のヒット数とを書け（「 ” 」は半角）。
- 課題 3** 課題2の結果を参考にしながら、「完全一致検索」（「フレーズ検索」）と通常の検索との違いを述べよ。
- 課題 4** Googleでの検索で、「ジャコウネコ」、「麝香猫」、「じゃこうねこ」をそれぞれイメージ検索した場合のヒット数と、これ3つを「OR検索」した場合のヒット数とを書け。
- 課題 5** 課題4の結果を参考にしながら、「OR検索」はどのような場合に使えば便利かを述べよ。
- 課題 6** Googleでの検索で、「Explore」と「panel discussion」の日本語訳と、「期末試験」の英訳とを書け。
- 課題 7** Googleでの検索で、 $123 \times 45 \div 67 + 89 - 654$ を計算せよ。
- 課題 8** 「優勝」という語句が起債されているページにアクセスし、「優勝」という言葉は、何個記載されているか。見落としをしない方法で数えよ。アクセスしたページのURLも書け。（以上の解答は全てワードに書く。）
- 課題 9** 「楔形文字」をイメージ検索し、シュメール人が書いた文字の写真を、一つの画像として（ワードに貼り付けないで）、提出せよ。

